

安心 元気な 口和の創造

ふれあいひろば

口和自治振興区

〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉 934-4
【電話】0824-87-2213 【Fax】0824-87-2135
【メール】kuchiwaiichi@gmail.com 【設立】2010年



公式HP Facebook Instagram YouTube

【口和クイズ】

口和町内に**公衆電話**は何か所あるでしょうか？

- ◆しめ縄作り（常定）
- ◆組織検討プロジェクト
- ◆新春を祝う伝統行事
- ◆住宅用火災報知器の点検
- ◆地域マネージャー通信欄
- ◆1月の主な行事
- ◆#口和が好き
- ◆おしらせ
- ◆2月の行事カレンダー
- ◆ゴミの出し方：有書ごみ
- ◆口和クイズの答え

本紙では紙面の都合上「新型コロナウイルス感染症」を一部『コロナ』と表記しています。掲載した行事は全てコロナ対策に配慮して実施しています。



「風が釣れたゾ〜」



「八国見山百景・雪」

口和地域の記事や写真など
皆さまの投稿お待ちしております！

口和地域データ

人口 | 1,783人 (-71)
世帯数 | 754世帯 (-8)
令和4年12月末日現在 / 増減：前年同月比

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で当振興区の活動も制限され十分な活動ができない一年でした。しかし、政府のコロナに対する行動制限は緩和傾向にあり、現在、第8波の高波が心配されながらも、少しずつ通常通りの生活が戻りつつあります。

そこで、「待ってましたー！活動再開ー」といきたいところですが、行事の中止が続いた3年間で固まってしまった体、おいそれとは動きません。徐々に慣らして以前の活気ある町になるよう頑張りますのでご支援、ご協力の程よろしくお願いたします。

なお、今年は役員改選の年となります。「もう、何年も自治会の役をこなして、代わってくれる者がなかなかおらん」というような声も聞きます。自治振興区では、負担を軽くして参加しやすく、やりがいのある地域活動となるよう、様々な部会やプロジェクトで組織や行事の見直しを検討しています。是非とも、私たちのふるさと「口和」のためにも自治会並びに自治振興区の役員へ積極的に協力下さいますようお願いいたします。

口和自治振興区長 清水 孝清

明けましておめでとーございませう。
皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申しあげます。
旧年中は、自治振興区に対し温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申しあげます。



「しめ縄作り」 常定



開催日 12月25日
会場 常定集会所

「組織検討プロジェクト」

総務部で口和自治振興区の体制や行事を見直す「組織検討プロジェクト」を計画し、今年度は準備会を立上げ9名のメンバーがプロジェクトの進め方や口和自治振興区の在り方について地域からの意見を持ち寄り協議しています。方針や日程が決まれば本紙でご案内いたします。

＜ 準備会メンバー ＞

区長 副区長 自治会長(永田・本谷) 若者代表 女性代表 学識経験者 事務局長

🎉🎉🎉 **新春を祝う伝統行事**

地域で大切に守り伝えられる伝統行事。
寒さの厳しい年末年始のなか各地で行事が行われました。

とんど



年末年始の行事



大晦日の夜は一年の感謝をささげ除夜の鐘が鳴り響き、年が明けると新年の無事と平安を祈願し初詣。
竹灯籠門松やかかり火で彩られた湯木八幡神社では、有志の会による「湯木ゆく年くる年」が行われました。

湯 木	1 / 9(月)
永田(出雲石)	1 / 9(月)
永田(中郷・市場・宮沖・深屋・大塩)	1 / 14(土)
金 田	1 / 9(月)
常 定	1 / 15(日)
宮 内	1 / 8(日)
大 月	1 / 9(月)



『住宅用火災報知器の点検をしましょう』



地域福祉の関係者が集まり地域の困りごと対策を考える「ぬくもり会議」で「住宅用火災報知器（以下、報知器）の点検や電池の交換について知らない人が多いので心配」という意見が出ました。

平成16（2004）年に消防法が改正され、報知器を設置し維持することが義務付けられました。報知器の設置により火災発生時の死亡リスクや損失の拡大リスクが大幅に減少しますが、経年劣化や電池切れにより正しく作動しないこともあります。

また、不安につけこんだ悪質販売もあるそうです。

正しい知識と行動で火災予防に心がけましょう。

（参考：独立行政法人 国民生活センター）

**住宅用火災報知器
（以下報知器）の豆知識**

- 🔥 消防法により報知器設置の義務があります。
 - 🔥 報知器は10年を目安に交換しましょう。
 - 🔥 説明書を読み、点検（作動確認・電池交換）・掃除（汚れ、ホコリの除去）を行いましょ。
 - 🔥 報知器の取り付けや点検時には転落・転倒のケガに注意しましょう。
 - 🔥 購入について心配な時は消費生活センター（ホットライン）へ相談しましょ。
- 消費者ホットライン：188(いやや!)番**

地域マネージャー通信欄

川上良美

(福祉事業担当)

●頭の体操「ダジャレ漢字ドリル」

皆さんは新年にあたり1年間の目標をたてられましたか。私も毎年お正月の日記に複数の目標を書くのですが、なかなか達成しません。でも、目標をいくらか意識しながら生活することに意義があると思っています。今回は久しぶりの頭の体操です。答えはこのページの下にあります。

ダジャレ漢字ドリル

各問の文がダジャレになるように右下のリストから漢字を選んで空欄に書き入れてくださいヒントは問題文の文中にあります。声に出して読んで考えるとよいですよ♪

【例】吹奏(スイウ)楽部の□□でザガニを飼う。【答】水槽

- ク ①迎えの□が来るまで待とう
 イ ②□□を着てとてもハッピー
 ス ③□□が良いのは結構なことだ
 ④先生が運動会で選手□□をする



〈リスト〉 法 車 宣 被 槽 行 誓 水 血

福田豊明

(防災事業担当)



●冬場に多い「着衣着火」について

寒い季節、衣服を着込んで火を扱うことが多くなります。「着衣着火」とは、調理中のガスコンロの火・仏壇のロウソクの火・焚火の火などが着ている衣服について燃え上がる現象を言います。全国で毎年約100の方がお亡くなりになっています。その中で高齢者の割合が高く、原因として高齢化による運動機能、判断力の低下があるようです。今月の防災だよりは火事で生き残る唯一の方法[1]として「着衣着火」について情報発信します。

積山道弘

(定住促進担当)



●住宅事情と田舎暮らし

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。昨年末の思わぬ寒波襲来の大雪もやっと消え、活用できるお家の見学等もスムーズに行えるようになり、所有者の方の思いや、お家を利用したい方のニーズを聞くなど活動しています。

住宅事情もハウスメーカーによると資材高騰ではあるが、この地域でも住宅需要はあり忙しいとのこと。住宅ローン金利も上昇気運が高まり、変動金利か固定金利か選択が難しい所である。専門家に相談し賢い選択が必要だ。

今年は、気象予報士の方が農業をはじめ、普段の生活でも激しい気象変動に対応することが重要と言われていた。又どこかの国の戦争のせいか、物価指数は上昇し日々の暮らしは厳しいものになっている。口和の田舎暮らしを確かな情報により、知恵を出し賢く乗り切っていきたいものです。

松本晋太

(情報発信担当)



●#口和が好き

あけましておめでとうございます。本年も口和の魅力を発信していきますので、よろしくお願ひ致します。

昨年はじめた口和の魅力を発信する「#口和が好き」では、口和の各所でいろいろお話を聞かせて頂きました。おじゃましたところを振り返ると、全部で14ヶ所。なかには、何度も足を運ばせていただいたところもあり、お忙しいなかご対応いただきありがとうございました。やはりそこには、たくさんの人に知ってもらいたい！と思うようなこだわりがたくさんありました。これからも工夫とアイデアで口和の魅力をもっと広くお伝えしていきます。

【1月の主な行事】

10日	三者会議(社協・市支所・振興区)	20日	ふれあいひろば 162号 発行	26日	女性部会
11日	配食サービス事業	20日	防災だより48号 発行	27日	役員会
14日	そろばん教室	21日	土曜本の会	28日	そろばん教室
15日	休日開放図書館	24日	ぬくもり会議	30日	生涯学習部会
16日	組織検討プロジェクト準備会	25日	配食サービス事業		

#口和が好き

情報発信を担当する松本地域マネージャーが、深掘り取材で意外と知らない口和の情報や魅力をお伝えします。インスタグラムやフェイスブックでも情報発信中！

Uターンしたら 牛の目が穏やかになり 地域が元気になる未来が見えてきた

口和町常定 合同会社たなべ牧場 田邊賢太(たなべ けんた)さん 田邊梢(たなべ こずえ)さん

雪の残った砂利道の先には造成された平らな土地。削り取られておき出しの土から造成の苦労が伝わってくるようです。なんと4年前から自分たちで削り始めたそうです。登りきったところで振り返ると、深紅の壁が印象的な真新しい牛舎が見えました。



今回は、その新しい牛舎とともに新たな一歩を踏み出した、たなべ牧場の田邊賢太くん、梢ちゃんを訪ねてお話を伺い、そこから地域の未来が見えてきたお話です。

たなべ牧場は、賢太くんのお爺さんが1956年に創業されて今年で68年目。2020年には「合同会社たなべ牧場」として法人化されています。現在は、ホルスタイン60頭を飼育し、生乳の出荷と「モーモーあいすらんど」としてアイスクリーム、プリン製造販売を手掛けてられています。

幼いころからご両親の働く姿を見て牧場仕事の厳しさを知る賢太くんは、跡を継ぐことに前向きになれずにはいましたが、最近の酪農は自動化が進んでいることを聞き、「これならやれるかも」と思うようになりました。

それからは、持ち前の探求心と行動力で全国の牧場を周って研究を重ねます。その数は実に100軒以上。新婚旅行で訪れた北海道でも結局最後は牧場見学をハシゴしてしまうくらい熱心に研究と検討を重ねました。

口和に帰ってきたのが2016年。同時に、牛舎の増築と自動化に向けた計画が動き始めます。

資金は、関係機関がプロジェクトチームを立ち上げサポート。冒頭の土地造成は、牧場作業の合間に自分たちだけで行いました。その一方で、資材高騰の影響を受けて、計画変更を余儀なくされることもありました。

いろんなことがありましたが、ついに2022年、こだわりが詰まった新牛舎が完成しました。



目玉はスウェーデンのDeLaval社製搾乳ロボットです。牛が好きなききにロボットの枠に入り搾乳、牛は美味しい餌をもらえます。搾乳の量や回数が記録されコンピューターの画面で確認できます。搾乳の回数も管理されるので、回数が多い子が来たときはロボットの扉が開きません。



また、自動化によって重労働がなくなったので、日常作業は梢ちゃんひとりでも回せるようになったそうです。

ところで、みなさんは自動化や機械化という言葉にどんなイメージをお持ちでしょうか。そこには、優しさや思いやりとは真逆な冷たさを感じてしまう方もいらっしゃると思います。ぼくもそう思っていました。

ところが、搾乳の自動化はこの予想に反して、牛たちにとっても優しいものでした。これまでは搾乳や餌やりの時間は、人間の作業の都合で決められていましたが、このロボットであれば牛たちは好きな時間に搾乳してもらえるのです。実際、夜しか搾乳にこない牛もいるそうです。

メリットは他にもあります。リアルタイムに一頭ずつのデータが確認できると、作業時間が減ったことで牛と向き合えるようになり、体調の小さな変化に気が付きやすくなりました。

導入当初は、ロボットに慣れない牛との格闘で深夜まで牛舎にいる日々が続いたそうですが、慣れてくると牛たちの目つきが以前よりおだやかになっていったそうです。



搾乳ロボットの導入で作業は軽減され、牛たちもより幸せになったのですが、いずれは餌やりなどの自動化も計画しています。さらに、ふたりは省力化によってできた時間を活用して次の構想にも着手しています。

モーモーあいすらんどでは、商品をリニューアルしネット販売を開始。観光需要も見込んだ実店舗の復活(楽しみ!)もめざします。

また、輸入飼料も高騰していますので、価格に左右される影響を少しでも減らすため、自家飼料を増やすことをめざしています。

つまり、モーモーあいすらんどの売上げが雇用を生み出し、自家飼料の増産で地域の遊休農地の解消が進みます。

ということは、厳しい作業からの解放が目的だった機械化が、地域課題の解消にまでつながるということです。

そして、この一連のことは、すべて「帰ろう」と決めた賢太さんと梢ちゃんの一步からはじまりました。

賢太くんは言います。都会からすれば不便に感じることもあるけど、そんなことは慣れるしネットでなんとかなる。それよりも、実家、地元には家や土地などの資源があり、人とのつながりと支え合いがあり、応援もしてもらえる。田舎だからといってできないことはない。やってみればいいし、無ければ自分たちで作る。そんななかで、楽しい仕事をする、楽しくなるようにする。できることはある。

賢太くんの話にうなずきながら梢ちゃんがモニターとにらめっこし、壁に掛けられた画面には牛舎の様子が写し出され、事務所の窓の向こうでは牛たちがしずしずと搾乳ロボットに入っていきます。そこには、これまで知らなかった新しい牧場の姿がありました。



そんななかで聞くふたりのお話には、牧場だけではなく地域の未来も明るくする、そんなワクワクがたくさん詰まっていて、こちらも元気をもらいました。

お忙しいなか、本当にありがとうございました。

合同会社たなべ牧場

庄原市口和町常定370-2



(地域マネージャー 松本 晋太)

取材後記 仕事の出来る人は、まず自分事として捉えうえて「状況の把握」「要点の絞り込み」「すべきことを選択」が明確で判断が早いように思います。いわゆる実業家タイプ。田邊賢太くんは地域行事の運営も遊びもまさにこのタイプ。牧場経営でも当然この持ち味をいかんなく発揮し、ほんとさすがです。やってみて見返して修正してまたやってみる。この一見当たり前だけど、やり続けていくのが難しいことをやり遂げていく姿に、さらに楽しい未来を期待せずにはいられませんでした。もちろんそこには、梢ちゃん、ご両親の存在が欠かせないの言うまでもありません。体に気を付けてさらに進化してってください。

★口和の魅力募集中★

口和自治振興区では、口和町内の◎がんばってる！◎おもしろい！◎興味深い！◎知らなかった！◎素晴らしい！

「ヒト・モノ・コト」を発信していきます！お店、イベント、農家さん、牧場さん、会社さんなどなど……

こちらから直接お声掛けさせていただきますが、取材して欲しい、という方も大歓迎です！

お問合せは口和自治振興区まで 0824-87-2213、(または各 SNS の DM で)

おしらせ

『健康寿命向上セミナー』栄養改善教室

日時 2/7 (火) 13:30~15:30
 会場 口和保健福祉センター
 講師 備北栄養士会
 『缶詰活用術～タンパク質編～』
 持参物 飲み物・動きやすい服装
 連絡先 社協口和地域センター 0824-89-2320
 口和自治振興区 0824-87-2213

『口和地域の確定申告』

詳細は、広報しょうばらNO.214（2023年1月発行）『税のかわら版』をご覧ください。
 期間 2/16 (木) ~ 3/15 (水)
 （土曜日、日曜日、祝日を除く）
 受付 9:00~11:30 13:00~16:00
 会場 口和自治振興センター
 連絡先 庄原市役所口和支所 0824-87-2112

『人権啓発推進DVD』の貸出し

地域の集まりや学習会だけでなく個人への貸出しも可能です。是非ご利用ください。

貸出し用機材

人権啓発推進DVD、DVDプレーヤー（再生機）、プロジェクター、スクリーン等

連絡先 口和自治振興区 0824-87-2213

今年度新しく入ったDVD

『夕焼け』

（上映時間 35分）

ヤングケアラー（家事や家族の世話などを学習や生活に支障をきたす程に行っていること（こと）の問題と共に支え合える社会の実現を考える。

『きこえない人の生活・気持ち』

（上映時間 21分）

「音のない世界」で困る事は？どんな配慮ができるの？私達にできる事を考えていく内容です。

2月の行事カレンダー

[] 内は、口和地域のゴミ収集日です。

★印・詳細は「おしらせコーナー」をご覧ください
 日程は諸事情により変更する場合があります。

【針供養】2月8日



日	月	火	水	木	金	土
			1 [その他紙類]	2 [容器包装プラスチック]	3 [燃えるごみ]	4
5 人権DVD (金田) ★	6 行政文書 [プラスチック類]	7 健康寿命向上セミナー★ [燃えるごみ]	8 配食サービス事業 [新聞]	9 三者連絡会議 [容器包装プラスチック]	10 [燃えるごみ]	11 そろばん教室
12 [施設開放日]	13 人権DVD (向家) ★ [燃えないごみ]	14 [燃えるごみ]	15 [その他紙類]	16 [容器包装プラスチック]	17 [燃えるごみ]	18 土曜本の会
19 休日開放図書館	20 行政文書 [ピン・カン 有害]	21 [燃えるごみ]	22 配食サービス事業 [ダンボール]	23 [容器包装プラスチック]	24 [燃えるごみ]	25 そろばん教室
26 [施設開放日]	27 組織検討プロジェクト準備会 [ペットボトル 古着]	28 [燃えるごみ]				

【口和クイズ】 答え (クイズは1面)

クイズ 口和町内に公衆電話は何か所あるでしょうか？

答え 8カ所

事件(110)や火事(119)だけでなく「災害用伝言ダイヤル」(171)等無料で利用できる公衆電話もあります。「いざという時」のために公衆電話の位置や使い方を確認してみませんか？

①竹地やすらぎ公園入口交差点②モーモー物産館駐車場③大月市場交差点④口和自治振興センター駐車場⑤口和総合運動公園管理棟前⑥口和中学校玄関前⑦浅尾商店⑧口和老人福祉センター（施設内、利用不可時間帯あり）
 【参考】NTT西日本「公衆電話 設置場所検索」



ゴミの出し方ミニガイド

『有害ごみ』

- 乾電池、体温計（水銀式）、蛍光管、蛍光灯、電球（LED含む）
- 口和地域の収集日…原則第3月曜日
- 指定ごみ袋…**赤色**
- 燃えないごみとは分けて出す。
- 有害ごみと燃えないごみは収集日が別。
- 長い蛍光灯、蛍光管は、はみ出してもいいので指定袋に入れて出す。



【参考】ごみの分け方ガイド

【問い合わせ】環境建設課 0824-72-1398

